



一般社団法人

富山県作業療法士会 ニュース

平成26年度 No.1

第 112 号 平成26年 6 月20日

発行 富山県作業療法士会

会長 田 村 良 子

印刷 (株) チューエツ

富山県作業療法士会ホームページ <http://toyama-ot.sakura.ne.jp>

富山県作業療法士会会員数：540人

県士会を皆のものに

会 長 田 村 良 子



26・27年度も引き続き会長を務める事になりました。

最後の力を振り絞ってという感じですが、皆さんに助けてもらいながらやっていきたいと思います。皆さんのような職場というものがなくなってしまったので、私の唯一の所属が富山県作業療法士会です。その県士会は、昨年度は学術面では東海北陸作業療法学会を成功させ、広報や普及事業では作業療法体験会がテレビニュースで放映され、作業療法のリーフレットの作製、配布、作業療法士会のはりや旗やワッペンを作ったほたるいかマラソンにも参加し、福祉用具相談支援システムの導入や特別支援教育への参画として特別支援学校のセンター的機能充実事業に延べ56回の発達障害部会のOTの派遣をしました。また、発達障害部会の小中学校を訪問する学校生活支援事業も開始しました。さらにリーダー研修会も開催し、士会活動のさらなる向上に取り組んでいます。着実に前に進んでいると思いますが、まだ一部の人が動き回っているという状況でもあります。

3月の総会の議案書を送付しましたが、26年度の事業計画を見ていただけたでしょうか？企画調整局の事業のところに認知症初期集中支援チーム、生活行為向上マネジメント、福祉用具相談支援事業、災害リハビリテーション支援チームの推進委員会が上がっています。また、渉外部のOT派遣や社会的地位向上の事業と様々な事業に取り組んでいます。さらに、3名の新理事を迎

え4、5月の理事会で組織改革を決め活動しやすくしました。「一人一役」を合い言葉にしてどんな形でならこの士会活動に参加できるのか皆さんの意見を寄せていただきたいと思います。

また、理事等が把握していないだけで、様々な地域貢献をしている方もおられるようです。そういったものも把握に務め、作業療法の普及や作業療法士の地位向上を図っていきたいと考えています。

活動性が高まれば当然出費も増えて来ます。5,000円の会費では賄いきれなくなる日も遠くはないようですが、これも一人一人が県士会活動に参加しその意義を感じていなければ賛同は得られないでしょう。

前号の士会ニュースの『OTを取り巻く状況』でも書いたように、作業療法を世間の皆様知ってもらい、活用してもらい、最良のサービスが提供できるよう研鑽し続けなければOTという職種は生き残れません。

私は40年OTとして歩んできました。いい仕事です。もっともっと役に立つOTをしたいです。その思いを県士会という組織が仲間が支えてくれます。今年度も皆さんの知恵と力と時間とお金を出し合って歩んで行きましょう。

最後に、最近2名の若い作業療法士が事故により亡くなりました。前途洋々たる方達であり、さぞかし無念であったと思います。慎んでご冥福をお祈りし、残された私達がお二人の意志を引継ぎいい仕事をしなければ…と思います。

平成26年3月8日(土)～9日(日)の日程で東海北陸ブロック7県士会から理事・部長・部員等35名が参加し東海北陸リーダー養成研修会が開催されました。

作業療法士数が急増し、作業療法の質の向上を目指す中、若い作業療法士の協会・県士会離れが多く、職場や県士会においても次世代のリーダー養成を行う事。また、県士会活動に興味・関心を持てる様な活動を行う事が必要と研修会が企画されています。

1日目は「私達の人生(キャリア)と組織」「硬直化を打破するために～コミュニケーションとネットワーク」と題し、中部大学経営情報学部 寺澤朝子教授の講演でした。組織論では環境適応力が必要で、新たに変わっていく柔軟性と良いことは変えない安定性のバランスが重要と学びました。また、組織内のコミュニケーション経路は上下と横のつながりのみで、どうしたら仲間同士

が深く知り合えるかを学び考えました。

2日目は、各県士会毎にブレインストーミングにて、県士会の抱える問題点や今後の課題を「見える化」しました。その後、ワールドカフェと題し、発表者以外は他県士会のまとめを聞き回りました。どの県士会にも様々な問題や悩みがあり、対策を練り実施している事がわかりました。

研修会を振り返り、県士会活動は誰かがやってくれる、やりたくないのにやらされるなど色々な想いがあると思います。しかし、やってやれないことはないし、やろうと思う気持ちをもっと育ち、多くの会員に伝わると、より良い県士会になっていくのではないのでしょうか。そのためにも、縦・横のつながりを大切にし、お互いの想いを理解し合えればと思います。同じ病院から地域へ、部会から県士会へとつながりが濃く密になることを目指せばいいなと思います。

県士会主催のリーダー研修会を初めて開催しました

谷野呉山病院 丸本 薫

2014年3月2日(日)リーダー研修会が開催されました。今回の開催の重要な目的は案内に書きましたように、単なるリーダー養成を目指したのではなく、全施設の会員が1年に1回は県士会活動に参加することを推し進めていくための足がかりとして、理事会で提案され開催の運びとなりました。結果としては会員施設の半数の参加がありましたが、まだ目的は達成されたとはいえません。今後は参加をされなかった施設の方に積極的にアプローチし数年内に全ての会員施設の方の顔を拝見できるように、今後の研修会などを開催していく予定です。今回の出欠報告には皆様に参加できない理由を記載していただきましたので検討の材料にさせていただこうと思います。皆様ご協力ありがとうございました。

さて、前置きが長くなりました。今回の研修会は大阪の谷隆博理事に講師をお願いいたしました。谷理事は「かなえるリンク」の代表取締役として全国で地域リハビリテーションの事業を展開しており、多く作業療法士を束ね育成、管理をしておられる、作業療法士としては管理者の第一人者と

いえると思います。先生には日本作業療法士協会の動向から私たちの方向性、今後なすべきことをわかりやすく説明していただき、続けて管理についての講演、ワークショップでは参加者の発表を受けての現場に即した御指導をいただきました。管理者としての指導力の必要性を強く感じました。

ワークショップのテーマは管理に必要な「人材育成」と「連携」の2つをかがけグループにわかれてテーマを一つ選択して、KJ法を用い自分たちの現場での悩みを出し合ってもらい、その結果を報告していただきました。9グループのうち7グループで「連携」を選んでおり、みんな同職種だけでなく他職種との連携に苦慮しながら業務に携わっていることを改めてわちあひ、普段なかなかいえない悩みも吐露しながらの活気あるグループ討論となりました。意義のある時間をすごせたのではないかと思います。

最後に、先にも申しましたように今後も形を変えながら、皆様の研鑽に必要な研修会を開催していけるよう努めてまいりますので、ご意見をいただければ幸いです。

発達部会研修会のご案内

発達部会では8月24日(日)に金沢星稜大学の臨床発達心理士、言語聴覚士である河野俊寛先生をお招きし、「読み書き障害」に関する研修会を開催する予定です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

きときとハンドセラピー勉強会発足の経緯と今後の方針

事務局 富山大学附属病院 横山 哲之

これまで年に2～3回、不定期で富山大学附属病院と黒部市民病院の作業療法士・手外科医とでケースカンファレンスを中心に勉強会を行っていました。しかし、不定期であったことから次第に開催できなくなったのが現状です。

ハンドセラピーを必要とする対象者は急性期から求められており、富山県内にも従事しているセラピストは多くいることと思われませんが、今まで県内にはハンドセラピー関連の勉強会・研究会がなく気軽に参加できるものはありませんでした。また、北陸ハンドセラピー研究会への富山県からの参加者が他県と比べると少なくハンドセラピーを行っている病院が多いのに対して関心の低さが伺えます。それらが今回、勉強会の発足に至った経緯です。

本勉強会では、ハンドセラピーに従事しているセラピストの方は勿論、ハンドセラピーに興味のある方、新人の方など、どなたでも気軽に参加できるという形をとりたいと思っており、解剖学・

運動学、評価学など基礎的なところから初めていきたいと考えています。まず、1～2年は基礎的なことから行っていき、その後は北陸及び全国から著名な講師をお招きし、勉強会をより発展していきたいと考えています。

今後はSIG (special interest group) への登録もする予定で、開催頻度は年に3回程度(5月、9月、2月)、土曜日に富山大学附属病院で開催を予定しています。参加費としては500円程度参加者から集めることで、今後講師をお招きした際の謝礼代、交通費や資料代としていきたくと思っています。また、北陸ハンドセラピー研究会の富山支部としての役割も担っていきます。第1回は5月24日(土)に「ハンドセラピーに必要な機能解剖」をテーマとして開催しました。

興味のある方はE-mail:tetsug@med.u-toyama.ac.jpまでご連絡頂けたら幸いです。今後も多くの方の参加をお待ちしております。

施設紹介

介護療養型老人保健施設 福光あおい 島 武史

介護療養型老人福祉保健施設福光あおいは平成25年4月に、療養病床福光あおい病院の転換先として開設いたしました。富山県の南西部に位置し、医王山の森林に囲まれ猿やカモシカがときどき出没(?)する自然豊かな環境にあります。関連施設には、砺波市の高橋外科医院、介護老人保健施設あかり苑(入所100床、通所20名)、療養病床あおい病院(96床)、グループホームすまいるがあります。また、福光あおいクリニック、グループホーム福光ほほえみの家が併設されています。

介護療養型老健の特徴として、療養強化型を算定しています。療養強化型とは、喀痰吸引又は経管栄養が実施された入所者等が20%以上、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅳ又はⅢの入所者が50%以上の要件を充たし、従来の老健よりも医療機能の強化を目的として、看護・医学的管理下での介護サービスを提供する「新型老健」のことです。在宅強化型が主流の中、医療必要度の高い利用者の入所やレスパイト目的のショートステイ受け入れの役目を担っています。

リハビリスタッフは、入所定員60床とクリニック外来利用者に対してOT1名、PT1名(他非常勤1名)で対応しています。OTは老健施設に転換した昨年度より勤務しており、2階のみ16室とコンパクトな生活フロアで生活リハビリを中心に、個別訓練、作業活動(手作業、手芸)、レクリエーションなどに取り組んでいます。

法人理念である「和顔愛語」を通して、利用者やご家族方のサポートを行い、ターミナルケアから在宅復帰まで幅広い関わりを目指しています。

当施設は医療必要度が高い利用者も多く敷地外への外出が困難なこともあり、昨年度は施設内でチューリップフェアなどを実施しました。今年度は敷地内で実施できるよう庭園造設も検討しており、その人らしいサービスを提供できる療養環境の整備を引き続き進めていく予定です。今年は観る事ができなかった敷地内のきれいな桜も来年は花見をしながらお茶会なんてことも楽しみです。

今後も多くの活動や参加が制限される施設生活の中で、利用者にとっては自宅である施設生活を主体的な在宅生活に向けた関わりができるように、多職種連携を通して励んでいきたいと思ひます。



役職名	氏 名	備考
会 長	田 村 良 子	
副 会 長	松 岡 暢	ケアポート庄川
常務理事	広 野 弘 美	富山労災病院
常務理事	丸 本 薫	谷野呉山病院
常務理事	作 田 清 子	砺波総合病院
理 事	浅 生 弘 美	国立病院機構 富山病院
理 事	高 林 一 彦	アルカディア雨晴
理 事	田 邊 はるみ	みしま野苑一穂
理 事	谷 口 利 香	あさひ総合病院
理 事	橋 爪 佳 美	チューリップ苑
理 事	松 本 和 美	高志通園センター
理 事	吉 波 美穂子	富山医療福祉専門学校
理 事	森 伊津子	厚生連高岡病院
理 事	島 津 康 二	温泉リハビリテーションいま泉病院
理 事	齋 藤 洋 平	南砺市民病院
監 事	高 岡 厚 視	富山県立中央病院
監 事	小 倉 努	黒部市民病院
事業局長	作 田 清 子	砺波総合病院
学術部長	浅 生 弘 美	国立病院機構 富山病院
基礎医学部会長	河 合 雄 介	桜井病院
身体障害部会長	裏 田 将 司	南砺市民病院
精神障害部会長	堀 口 明 美	谷野呉山病院
発達障害部会長	伊 藤 雄 大	高岡市きずな子ども発達支援センター
障害老人部会長	大谷内 卓	金沢医科大学氷見市民病院
地域リハビリテーション部会長	鷺 尾 智 子	南砺市民病院ディケアセンター
アクティビティ部会長	佐々木 和 也	富山市民病院
教育部会部長	能 登 健 司	ゆりの木の里
福利厚生部長	橋 本 明 洋	シルバーケア栗山
広報部長	向 慎 司	厚生連高岡病院
普及指導部長	太 田 悠 介	深川病院
企画調整局長	丸 本 薫	谷野呉山病院
企画部長	丸 本 薫	谷野呉山病院
保険委員会委員長	佐々木 真利子	砺波総合病院
調査部長	小 倉 佐 織	シルバーケア栗山
事務局長	広 野 弘 美	富山労災病院
総務部長	吉 波 美穂子	富山医療福祉専門学校
渉外部長	橋 爪 佳 美	チューリップ苑
財務部長	藤 井 詩 穂	富山市民病院

一般社団法人日本作業療法士協会 代議員（３名）

高 岡 厚 視

作 田 清 子

広 野 弘 美

会員異動等

種類	氏 名	旧所属	新（現）所属
退会	寺 村 京 子	独立行政法人国立病院機構 北陸病院	県外
退会	谷 田 恵衣子	八尾総合病院	自宅
休会終了	愛 宕 美 緒	自宅	常願寺病院
改姓	安 井 絢 賀	（旧姓 市山）	介護老健 仁泉メディケア
改姓	益 山 央 果		高志リハビリテーション病院
異動	柳 原 理 恵	自宅	富山市民病院
改姓	北 野 朋 恵	（旧姓 上野）	老人保健施設 シルバーケア泉
異動	池 田 賢 代	山田温泉病院	老健 チューリップ苑
異動	野 村 賢 男	介護老人保健施設 みわ苑	となみ三輪病院
異動・改姓	増 田 祥 代	自宅（旧姓 細川）	医療法人社団 秋桜 丸川病院
新入会	本 保 恵 介	長岡療育園	国立病院機構 富山病院
異動	遠 藤 康 代	自宅	老人保健施設 アルカディア雨晴
異動	前 澤 美 久	黒部市介護保険施設カリエール	自宅
改姓	市 森 沙 織	（旧姓 藤塚）	池田リハビリテーション病院
異動	林 美 沙	池田リハビリテーション病院	魚津緑ヶ丘病院

現職者研修のお知らせ

新しく協会に入会された方は、「生涯教育制度」に沿って、「現職者共通研修」および「現職者選択研修」を受講終了することが望ましいとされています。

これらは、作業療法士として継続的な自己研鑽を支援するための、最初の必須研修になっています。

富山県作業療法士教育部では、平成26年度の「現職者共通研修」「現職者選択研修」を以下の日程で開催予定しています。

I. 現職者共通研修：10テーマ

予定月日	テーマ	場所：富山医療福祉専門学校	講師
2014.6.8(日)	1. 作業療法生涯教育概論	時間：9：15～10：45	谷口氏
2014.7.27(日)	2. 作業療法における協業・後輩育成	時間：13：30～15：00	藤井氏
2014.8.1(金)	3. 職業倫理	時間：15：10～16：40	田村氏
2014.7.27(日)	4. 保健・医療・福祉と地域支援	時間：10：40～12：10	田邊氏
2014.7.27(日)	5. 実践のための作業療法研究	時間：9：00～10：30	小倉氏
2014.7.3(火)	6. 作業療法の可能性	時間：15：10～16：40	能登氏
2014.7.3(火)	7. 日本と世界の作業療法の動向	時間：13：10～14：40	渡邊氏
2014.8.1(金)	8. 事例報告と事例研究	時間：13：30～15：00	森氏
富山、高岡、砺波、 新川地区ごとに開催	9. 事例検討 10. 事例報告	場所は未定 各地区1回	

II. 現職者選択研修：90分4コマ

予定月日	テーマ	場所・時間	講師
2014.11.16(日)	老年期障害領域の作業療法	富山県医療福祉専門学校	未定

参加される方は、**下記のアドレスに必ずお申し込み下さい。**

また、未定な部分については、県士会ホームページまたは、県士会ニュースに掲載しますので、随時ご確認下さい。

お申し込み先・連絡先 ゆりの木の里 職業指導員（作業療法士） 能登健司
 TEL：076-433-4500 FAX：076-433-4527
 E-mail：toyama.ot.kyouikubu@gmail.com

平成25年度 第7回理事会

場所：富山医療福祉専門学校会議室

日時：平成26年1月20日(月) 19:00～

参加者：田村、作田、浅生、谷口、高林、橋爪、
松岡、松本、丸本、吉波、広野、古澤

以下の事について検討した。

〈検討事項〉

1. 地域リハ部会事業計画－来年度は、きつときと新聞を年2回発行予定とし、再来年度の研修会開催準備の勉強会実施予定を承認する。
2. 平成26年度予算書審議－概ね承認。研修会を開催する学術部の会議費は年間4回分までとする。研修会当日のスタッフには交通費を支給する。
3. 富山県士会リーダー研修会開催案内公文書（開催日H26年3月2日）－総合案内と一緒に送付する。
4. 東海北陸リーダー養成研修会（3月8、9日）－参加者を理事2名、各部部长3名で調整。
5. 県士会役員選挙公示－総会案内と一緒に送付する。
6. 学会開催担当区分け－新川地区⇒富山南地区⇒高岡地区⇒富山北地区⇒砺波地区の順とする。

〈報告事項〉

1. 介護予防研究会抄録集用「作業療法の紹介」送付。研究会は2月16日(日)13:30～16:30 サンシップにて開催予定。申込書を会員に送付。
2. 認知症初期集中支援チーム委員会のメンバー－中山真一氏（魚津緑ヶ丘病院）澤井蘭氏（国立病院機構北陸病院）、河原梓氏（みしま野苑一穂）、斎藤洋平氏（南砺市民病院）に依頼、今後、士会への周知を図る研修会の企画等を担う。
3. 富山県災害時こころのケアチーム検討・運営委員会－1月24日(金)開催。
4. H26年度県学会－12月7日開催予定。場所：北アルプス文化センター。特別講演講師：吉川ひろみ氏（広島県立大学）、生活行為向上マネジメントについて。学会テーマ：主体的な生活を支援するには－その人を知り、よりよい人生を送っていただくために－。
5. 金城大学－平成26年度から賛助会員として入会。
6. 第3回災害リハビリテーションコーディネーター研修会（25年12月21日、22日、東京）－理事高林氏、参加報告。富山県から参加した医師、PT、OT、ST等で災害リハビリテーションの体制を県の担当部署と連携をとり検討していく。県士会内にも担当委員会を設けていく必要がある。

平成25年度 第8回理事会

場所：富山医療福祉専門学校会議室

日時：平成26年2月17日(月) 19:00～

参加者：田村、作田、浅生、高林、田邊、橋爪、
松岡、松本、丸本、吉波、広野

以下の事について検討した。

〈検討事項〉

1. 平成26年度事業予算案－県士会全体での予算案の検討。東海北陸作業療法学会について、7年後の開催までに毎年100,000円を積み立てる。士会パソコンの購入。慶弔費は、本人死亡の場合献花15,000円とする。
2. リーダー研修会－内容については、30分程度講義を受けて、その後1時間ワークショップを行う。進行を理事で役割分担。
3. OT協会会員管理システム接続士会募集－他県士会の使用状況について情報を得てから検討する。

〈報告事項〉

1. 富山県災害心のケアチーム検討・運営委員会（1月24日開催）
国から活動要請が出され、それに合わせて名称を富山県災害派遣精神医療チーム（DPAT）に変更。対象災害の拡大や派遣の根拠法、活動内容、チーム編成なども変更。今後は、チームに入るOTを精神科領域から推薦する。
2. 東海北陸リーダー養成研修会（3月8日・9日 名古屋）－参加者予定 高林一彦氏（アルカディア氷見）、堀口明美氏（谷野呉山病院）、古澤学氏（富山市民病院）、飯野美希氏（矢後病院）、磯部美和子氏（川田病院）。
3. 県士会リーダー研修会（3月2日）講師決定－OT協会理事 谷隆博氏（大阪 かなえりんく）。
4. 訪問リハ研修会開催（2月16日）－県士会員22名参加。平成26年度も今年度同様、年2回開催予定。

平成25年度 第9回理事会

場所：富山医療福祉専門学校会議室

日時：平成26年3月2日(日) 16:00～

参加者：田村、作田、浅生、高林、田邊、橋爪、
松岡、松本、丸本、吉波、広野、谷口

以下の事について検討した。

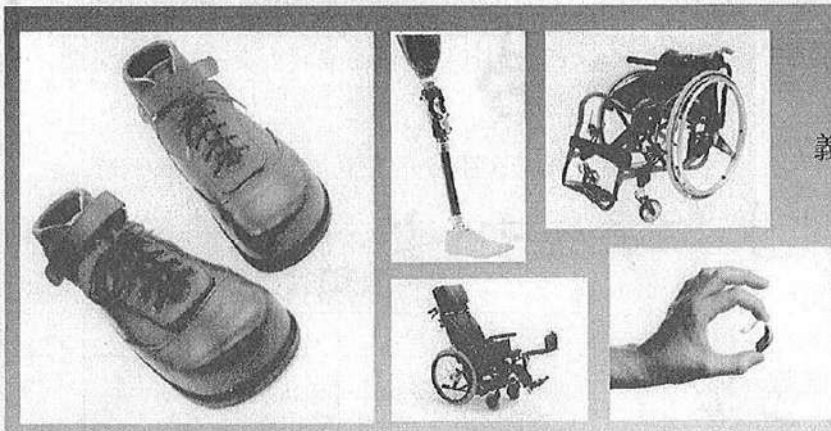
〈検討事項〉

1. OT協会会員管理システム接続の件－H26年度はワーキンググループを作り、石川県士会に見学に行くなどして、検討をすすめる。今年度協会システム導入は見送る。

Toyama

Prosthetics & Orthotics Service

<http://www.tpo-morita.com>



【営業品目】

義手・義足・補装具等 製作修理

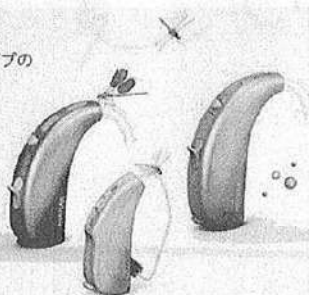
オーダーメイド靴 製作

車椅子・スローマ・補聴器

福祉用具貸与販売

高度・重度難聴の方をサポートする、
クレストシリーズのパワー&防水タイプの
補聴器です。

Phonak Quest IP54 IP67



(株)富山県義肢製作所 富山県補聴器センター

〒930-0042 富山市泉町1丁目2-16

TEL (076) 425-4279

FAX (076) 425-4587

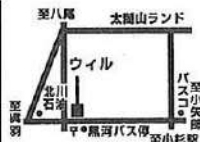
E-mail t-gishi@cronos.ocn.ne.jp

介護保険対応! ベッド・車椅子・レンタル!

車椅子
→ 480円より
ベッド
→ 700円より



株式会社 **ウィル**
TEL (0766) **56-7099**
FAX 56-3395



手芸・毛糸の店

- 手芸糸
 - 刺し子
 - ビーズ手芸
 - マクラメ糸
 - ちりめん手芸
 - その他
- ハマナカ
 - オリムパス、ナスカ
 - トーホー、ミユキ
 - ダルマ、川端
 - 東芸
 - S.M、M.B他
- 各手芸材料取り扱っています。



ボタン・手芸・毛糸

スギマサ

〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9

TEL (076) 421-3444

FAX (076) 421-4334

2. 県士会会員システムの件－事務局長以外に総務部・財務部から代表者を選出し、システム作成業者と話し合いをすすめる。
3. 県士会選挙規定の件－常務理事会で、規程内容を作り、平成27年度定期総会で承認を得る。
4. 各部会理事担当者の件－常務理事会で検討してから、来年度4月理事会で諮る。

平成26年度 第1回理事会

場所：富山医療福祉専門学校会議室

日時：平成26年4月14日(月) 19:00～

参加者：田村、作田、浅生、田邊、谷口、橋爪、
松岡、高林、松本、丸本、吉波、森、
島津、齋藤、高岡、広野

以下の事について検討した。

〈検討事項〉

1. 石川県作業療法士会 公益社団法人移行記念式典の出席－広野出席予定。
2. WFOTへの県士会出典は見送り。
3. 第13回認定NPO法人ぜんせいいれん全国大会in富山 9月13・14日 サンシップとやまー後援承諾。5月2日(金)団体長会議出席。
4. 発達障害部会のホームページ利用承認。
5. 役員選出規程内容検討。小寺氏に承認の上、平成26年度定期総会時の議案事項とする。
6. 県士会組織図および担当理事の検討。次回総会時に会員に知らせる。
7. 総会日時－5月8日(日)10時45分から受付。その前に、現職者共通研修と事務・財務担当者連絡会議の開催予定。
8. 功労表彰者3名－平成26年度定期総会時の出席打診予定。
9. 平成25年度臨時総会前に開催された県士会リーダー研修会の出欠状況把握。欠席者に対する研修会を検討する。

〈報告事項〉

1. 東海北陸リーダー養成研修会 3月8・9日 名古屋市－高林、古澤、飯野、磯部、堀口氏参加。高林氏より、研修内容報告。
2. 診療報酬・介護報酬改定研修会 3月9日 東京－佐々木氏参加
3. 平成25年度第2回富山県災害時心のケアチーム検討運営委員会 3月11日－会長出席。今後、県と士会とで協定書を交わし、士会でチームに参加するOTを決めていく。
4. 平成25年度富山保健福祉圏域脳卒中患者等地域リハビリテーション連絡協議会3月13日－会長出席
5. 社会福祉法人富山県精神保健福祉協会（ゆりの木の里）平成25年度第2回評議会、公益社団法人富山県精神保健福祉協会 平成25年度第2

回社員総会3月20日－会長出席

6. 平成25年度地域医療再生リハビリ従事者業務啓発事業報告書 3月27日提出。3月31日付けで事業補助金の額の確定(30万)の通知。
7. OT協会より平成26年度「特別表彰」受章者報告の通知。高畑氏(大阪府)・中村氏(福岡県)・川本氏(鹿児島県)。
8. 訪問リハビリテーション地域リーダー育成会議 5月16・17日 東京－唐津氏派遣。

賛助会員名簿

(順不同)

会 員 名(代表者)	住 所	備 考
温泉リハビリテーション いま泉病院 (理事長 大西仙泰)	〒939-8075 富山市今泉220 TEL076-425-1166	
㈱ウイル (代表取締役 黒田 勉)	〒939-0311 射水市黒河3075 TEL0766-56-7099	
酒井医療㈱ 金沢オフィス (リーダー 小松 勉)	〒921-8036 金沢市弥生2-6-16 1F TEL076-241-5721	
平 野 淑 子	〒930-0008 富山市神通本町2-3-7 TEL076-432-6617	(有) クラフト 工房
富山医療福祉専門学校 (学校長 辻 政彦)	〒936-0023 滑川市柳原149-9 TEL076-476-0001	
(有)スギマサ洋装店 (代表取締役 杉政正規)	〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9 TEL076-421-3444	
学校法人金城学園 金城大学 医療健康学部 (理事長 加藤 晃)	924-8511 石川県白山市笠間町1200 TEL076-276-4400(代)	

編集後記

新年度になり人事異動や新入社員が入社するなど、新たな環境での仕事が始まりました。一緒に働くメンバーが変わると今までの仕事の流れに新しい風が吹くような新鮮さを感じます。

改めて考えさせられることもあり、また新しい知識を学ぶきっかけになっています。

新人の頃が思いおこされ、「心機一転」気持ちを新たに頑張っていきたいものです。